

事務事業名	ダム湖周辺整備事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	ダム対策G	課長名	西川 徹
施策名	(05) 自然環境・景観の保全	担当者名	福間 央	電話番号 (内線)	0854-40-1012 3514
基本事業名	(014) 景観の保全と創造	予算科目	会計 4:0 款 0:5 項 0:5 目 0:5 中事業 0:2	ダム湖周辺整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21年度~24年度)	「尾原ダム地域に開かれたダム整備計画」に基づき、ダム湖周辺の整備を行う。 ・エントランス広場整備 ・農村体験施設整備 ・植栽工事 ・工事分室PR館改修整備	①尾原ダム地域に開かれたダム整備計画(平成17年3月認定)②農山漁村活性化プロジェクト支援交付金「雲南市地区」(平成21年3月採択)

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	国庫支出金	千円	4,077	95,923				100,000
	県支出金	千円		176,255				176,255
	地方債	千円						
	その他	千円	4,078	97,202	57,700	7,450		166,430
	一般財源	千円						
事業費計 (A)		千円	8,155	369,380	57,700	7,450		442,685
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	2	3	3			
	延べ業務時間	時間	384	1,388	1,388			
	人件費計 (B)	千円	1,465	5,397	5,471	0		12,333
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,620	374,777	63,171	7,450		455,018

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	建設工事 委託業務	ア 工事件数	件	0	16	4	2		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 委託件数	件	2	7	2	0		
	道の駅周辺整備 サイン整備	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	尾原ダム周辺地域住民(20歳以上)	⑥ 対象指標							
	ア 周辺住民	人	515	496	500	500			
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	環境に配慮した施設整備に対する理解向上	ア アンケート参加率	%	55	-	-			
		イ 説明会参加者数	人	80	103	94			
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	自然環境に対する意識を高めてもらい、自然環境保護活動を実践することで、美しい農山村の風景を守る。	ア 自然環境が守られていると感じる市民の割合		70.3	73	75.3			
		イ 市内が美しい環境だと感じている市民の割合		81.3	77.2	79.3			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
施設整備の進捗により、管理へ移行しつつある	施設の早期完成と、活用、管理に関する協議に労力を割いた	①整備施設管理に対する地元団体の活用②道路法面の維持管理

事務事業名	ダム湖周辺整備事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ ・「地域に開かれたダム整備計画」により、自然環境に配慮したダム湖周辺整備を行うことは政策体系と一致する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ ・尾原ダム建設により衰退した周辺地域の活性化を図る上で、国、県の協力支援により、市が拠点施設の整備事業を行うことは妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ ・尾原ダムを中心とした整備事業であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ ・成果を上げるべく事業を行っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ ・周辺整備を行うことを前提に尾原ダム事業が進められており、周辺地域の地域づくりに不可欠であり廃止、休止できない
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ ・ダム湖周辺整備に特化した事業であり、類似事業が存在しない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ ・整備箇所を厳選し、なおかつ事業費を大幅に削減した計画で進行しており、これ以上の削減は不可能。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ ・国、県及び市で相互連携、業務分担して行っている事業であり、かつ、尾原ダム完成に向け関係機関調整業務が増大しており、削減は困難。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ ・尾原ダム周辺地域に限定した事業であるが、山陰最大規模の尾原ダムを活用した観光、スポーツ等の拠点施設として整備することは観光資源として活用することにより雲南市全体の交流人口増加に繋がるため適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・ダム建設が最終段階に入っており、地域住民の理解を得ながら、関係機関との調整を行い、事業促進を図った。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 周辺地域の地域づくりに資する施設整備内容の精査を進める																							